異食・誤嚥・窒息

　　救急勉強会⑥　H30、１０月分

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ヒヤリ・事故 | 要因 | KYT |
| 異食 | ・お腹がすいている、味覚障害 ・不安やストレス  ・寂しさや欲求不満の代償行為  ・認識力の低下 | ＜急変対応＞  ・各製品に書いてある応急処置（吐かせる・水を飲ませて薄めるなど）をする。  ・電池、先端の尖ったもの、洗剤、タバコ、薬品などの場合は、ただちに緊急受診。  ・空腹の時間を作らない。  ・異食の原因となっている不安や不満を取り除く。笑顔で会話するだけでも良いので。 ・歯磨きや入れ歯の手入れを習慣化する。 |
| 誤嚥・窒息 | ・食事介助技術の未熟  ・不適切な食事姿勢、食事形態  ・嘔吐時の合併症 | ・嚥下障害やトロミ使用の患者を把握するための目印をつける。 ・口腔内乾燥が著しく乾燥していたり、喘鳴時や覚醒不良の際は無理しない。 ・下で唇をなめられるか。摂食動作、咀嚼、嚥下機能の観察。咀嚼を促すことで嚥下も促されることに配慮。 ・顎を引いた姿勢をとる。 ・健側を意識する。 ・食後１～２時間は坐位をとる。 ・吸引器の点検と整備。 |